

グループ名 ・代表者名	夕張メロンと夕張川の水を守る市民ネットワーク 清野 宣昭	助成金額	20 万円
連絡先など	〒060-0536 北海道夕張市南清水沢 3-23 Tel:0123-59-6200 Fax:0123-59-3095		
助成のテーマ	安定型処分場に依存しない農業用エンビフィルムのリサイクル等資源活用システムの構築に関する研究と夕張の自然環境を守る取り組みについて		

【調査研究・研修の概要】

自然環境調査は良好な里山的自然環境を有する廃棄物処分場設置予定地において、すでに環境省レッドリストによる準絶滅危惧種が記録されていた同地区の生物相調査を行う事とした。

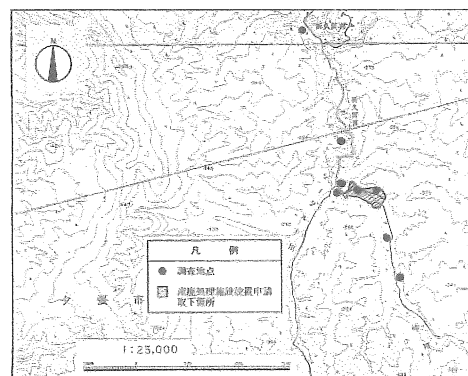
22 年度の調査は、主として昆虫類の生息調査を行い、同地域の環境保全の重要性を明らかにすることを目的として行い、貴重な昆虫・淡水魚の生息を確認した。

また、市民と共に夕張の将来を考え、自然や環境を守る事の大切さを学ぶセミナーを開催した。

【調査研究・研修の経過】

2010 年

- 3 月：崖崩落を発見し、道庁に調査依頼。
- 4 月：三笠市産廃処分場（安定型）現地調査。
- 5 月：記者会見
(絶滅危惧種エゾホトケドジョウ現地付近で発見)
- 6 月：<クルキの大自然と安定型産廃施設の問題を考える>住民説明会
<ゴミ弁連シンポジウム 2010 in 夕張>共催
- 7 月：産廃業者が設置許可申請を取り下げる
- 12 月：<夕張の農業廃ビニール・自然エネルギーを使った仕事おこし>
セミナー開催
- 3 月：<環境と昆虫>セミナー開催
- 5～9 月：生物相の調査



【今後の展望など】

- ・2010 年の調査は、盛夏の頃と植物相の調査が不足しているので、これらのデータを細くして行きたい。
- ・今後は、本地域のみならず、市内の流域ごとの調査を進める事がモニタリングと共に重要であり、さらには環境基本条例制定に向けて活動して行きたい。

会計報告書の概要 (金額単位：千円)			充当した資金の内訳		
支出費目	内 訳	支出金額	高木基金の 助成金を充当	他の助成金 等を充当	自己資金
旅費	2,000×10 回、5,000×5 回	45	15		30
資料費	3,500×2 冊	7	7		
機材・備品費	プロジェクター	24	24		
会議費	会議会場使用料 (住民説明会・セミナー 2 回)	52	30	20	1
印刷費	資料印刷・用紙代、印刷機トナー代、インク代	70		16	54
協力者謝礼など	講師謝礼 (旅費含む) 4 人分	106	100		6
外部委託費	HP 維持費 (無料)				
その他	郵便・携帯電話代、新聞織り込み手数料、 廃棄物処理場問題全国ネットワーク 会費	44	24	13	7
合 計		349	200	50	99

夕張市紅葉山新久留喜の生物相調査

- ※なぜ調査をおこなうことになったのか？
- 産廃処分場設置予定地では既に環境省レッドリストによる準絶滅危惧種が記録されていたために、同地区の生物相調査をおこなった。
- 北海道環境影響評価条例等により、処分場の規模が2.3haの小規模な第二種事業とされ動植物の影響調査が除外されていたが、貴重な動植物の生息・自生の調査や生態系の適切な維持は事業規模に関係がないと考え、同地区とそこに至る道路沿いにおいて調査をおこなった。
- 調査地は冷温帯と亜寒帯の緩衝地帯となっており一部の動植物の分布境界として、生物地理学上重要な石狩低地帯の東端部にあたる。
- 調査の方法は昼間の一般的な捕虫網によるランダムな採集、地面を歩行する昆虫を採集するピットフォールトラップ、蛾類を採集する夜間のライトトラップ等によりおこなった。
- 調査は2010年5月初めから9月末まで計13回おこなった。
- 調査の結果、国や北海道指定の絶滅危惧種とされる貴重な淡水魚、同じく国指定の絶滅危惧種となっている甲殻類、又国指定の準絶滅危惧種及び北海道の希少種とされるチョウが発見された、その他にも多数の希少昆虫類、鳥類、淡水魚類が確認されている。
- 調査地は幾筋もの緩やかな清流と森林に囲まれた環境に、農家の点在する典型的里山で、当初考えていた以上に豊かな生態系を保ち、森林性と水生生物の種が豊富な地域であることがわかった。
- 本地域の人為的改変をおこなうようなことがあると生物多様性に多大な影響が及ぶことが予想されるため、この地域の保全に十分留意する必要がある、さらに今後は本地域のみならず市内の流域ごとの生物相調査を進めることがモニタリングとともにきわめて重要である。



生物相の調査(2010・5 / 5～9 / 30)

夕張メロンと夕張川の水を守る市民ネットワーク 夕張市民ネット通信

「クルネの大自然と安定型産業施設建設の問題を考える～住民説明会」開催

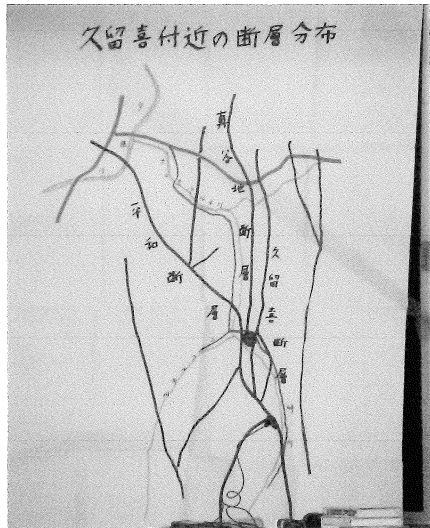
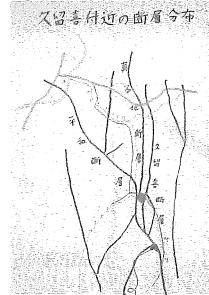


6日、紅葉山会館において、夕張市民ネット1番による産廃処分場説明会を開催し、市内・外から約100人が参加しました。会中では、「クルネの大自然と安定型産業施設建設の問題を考える～住民説明会」と題したパネルを掲げ、エゾホトケドジョウなどの希少種の写真パネルを掲示しました。最新の調査結果を報告すると、会長の挨拶で、市民ネットワークの活動の中で、久留喜地区の環境問題について、さらに積極的に取り組んでいくことと発表しました。

公啓・新築・意見書
次に事業による、事業説明があり、続いて産廃処分場説明会を開催し、市民ネットワーク代表の藤原利和さんより、全庁でおこなっている安定型産業施設の事故や公害、訴訟、さらに2007年に日本弁護士連合会が国に対して出した「安定型産業施設が今後必要に許可されないよう求める意見書」などについて説明がありました。

環境基本条例を！
さらに、夕張市民ネット環境課として生物調査を行っている藤本厚さんより、「夕張市頂上と低地の1.570Mの標高差の谷には絶滅危惧種などの希少種の生物のほかにも、古生物であるエゾナキウサギやアンモナイトなど保護すべきものがたくさんある。60年余の自然を見てきた。夕張にこの環境基本条例が必要にまでたどりついていない。行政と議会に憤りを覚える。里山のような環境が大好きでよく入る、オオワシやトンショウと同様な絶滅危惧種であるエゾホトケドジョウが生息し、先日オオワシもいた。道新の報告ももらえたので、目下にしてほしい」と発言しました。

三本もの新築！
続いて元老健道開所記念館学芸部長の久野牧六さんより、久留喜地区の地質について、「この地域には平野断層・長谷断層・久留喜断層の3本の断層があり、工事の予定地はこの3本が集まっているところ。」



夕張産 予定地下流に絶滅危惧種

市民団体 エゾホトケドジョウ発見

夕張市紅葉山に計画されている産廃処理施設に反対している住民グループ「夕張メロンと夕張川の水を守る市民ネットワーク」(清野宣昭代表)は14日、建設予定地周辺の湿地で、「北海道レッドデータブック(2007)」で絶滅危惧種に指定されているエゾホトケドジョウを見つけたと発表しました。

エゾホトケドジョウは北海道固有種で、道央・道北・オホーツク海側の河川・湖沼に生息している。体長

は、種類と小柄で口ひげが本あり、体は走る蜂状の黒い線が特徴。市民ネットワークは11日、建設予定地から約2キロ下流の湿地で1匹を採取した。

記者会見で、エゾホトケドジョウを発見した藤本厚さんは「大自然まことに恵まれた。この地域の環境の保全には十分留意する必要がある」と訴えた。同グループは会合後にエゾホトケドジョウをもとめ、道に対して住民説明会の開催を要請し、環境問題に対する取り組みなどをたずねる方針という。

新たに発見されたエゾホトケドジョウ(夕張市役所で)

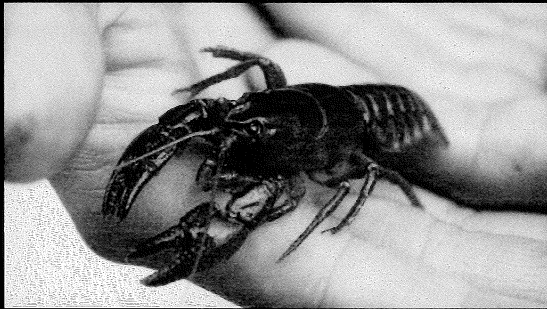
エゾホトケドジョウ

Lefua nikkonis Jordan et Fowler

※石狩市と苫小牧市を結ぶ石狩低地帯より北東部に生息する
北方起源種の北海道固有種
環境省指定絶滅危惧種IB類(環境省,2007)
北海道指定絶滅危惧種(北海道,2001)

ニホンザリガニ

Cambaroides japonicus Dehaan



※北海道と青森・秋田・岩手の東北 に分布する日本の固有種

環境省指定絶滅危惧II種 (環境省, 2000)

ヒメギフチョウ 北海道亜種

Luchdornia puziloi yessoensis Rothschild



※北海道では石狩低地帯の北東部に分布

環境省指定準絶滅危惧 (環境省, 2007)
北海道指定希少種 (北海道, 2001)



Fig.2 オオアイトトンボ

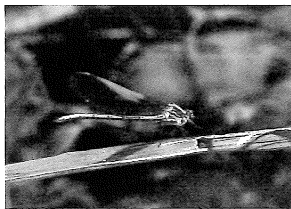


Fig.3 ニホンカワトンボ



Fig.4 オオコイロシ



Fig.5 オオルリオサムシ

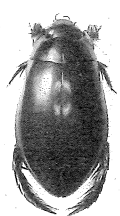


Fig.6 ゲンゴロウ

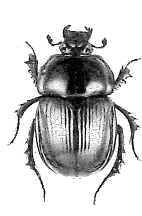


Fig.7 オオセンチコガネ

生物、地質問題など 反対派住民が指摘

夕張産廃施設 業者招き説明会
【夕張】市内紅葉山に計画されている産廃処理システム(夕張)を招き、産廃処理施設に反対する市民グループ「夕張メロンと夕張川の水を守る市民ネットワーク」説明会には市民ら約100人が参加。市計画に理解を求めた。民ネットの清野昭昭会長は「市民の知らないうちに手続きが進んでいる。8千を越す反対署名も集まっている。地域、市民の意思を尊重してほしい」とあいさつ。反対派から、全国「安定型」と言われる産廃処分場と起きる汚染などのトラブルや、夕張の計画地で希少生物が発見されたこと、断層などが走っているという地質上の問題などが指摘された。

これに対して環境システム側は道の廃棄物処理施設専門委員会対応を求められた事項などを説明し、「持ち込む産廃は分別を徹底する。今回の指摘もできる限りの対応をしたい」と述べ、市計画に理解を求めた。一方、会場からは計画の白紙撤回を求める声も相次いだ。

計画をめくっては、道の専門委員会が周辺に配慮されているとして建設容認の意見書をまとめており、近く道の許可するかどうかを決める。(三浦祐)

25 空知 空岩 2010年(平成22年)

夕張の産廃計画申請撤回 世論二分の問題終息

【夕張】市内紅葉山は明らかになっているとして建設推進の産廃処理施設は、道の廃棄物処理を前もって申請していた。一方、自然保護を主張して反対していた市民グループ「夕張メロンと夕張川の水を守る市民ネットワーク」は、道の建設許可申請撤回をめぐって、建設容認の意見書をまとめた。市計画に理解を求めた。一方、会場からは計画の白紙撤回を求める声も相次いだ。

建設容認の意見書をまとめた。市計画に理解を求めた。一方、会場からは計画の白紙撤回を求める声も相次いだ。

建設容認の意見書をまとめた。市計画に理解を求めた。一方、会場からは計画の白紙撤回を求める声も相次いだ。

建設容認の意見書をまとめた。市計画に理解を求めた。一方、会場からは計画の白紙撤回を求める声も相次いだ。

ゴミ弁論シンポジウムin夕張

2010 6/25
産廃処分場問題シンポ
青山 貞一

夕張の農業用ビニール・自然エネルギーを使った仕事おこし
2010 12/12
大友 昭雄
(株) NERC
自然エネルギー研究センター

夕張の自然・環境保護を考える
2011 3/6
環境と昆虫
岩佐 光啓 教授